



2026～27 年度国際ロータリー・テーマ
RI 会長:オラインカ・ハキーム・パバロラ(インカ)



2026 年 8 月 17 日

◆ビジター紹介 (8/10)

〔かのや東 RC〕 中元 徳寿さん

◆会務報告

- 2027-28 年度派遣 青少年交換留学生募集チラシ送付
- ハイライトよねやま Vol.317
- ガバナー公式訪問の随行者について
- 地区補助金支給について (ご連絡)
- 卓話で活用「ロータリーの友」-パワーポイント/ビデオメッセージ素材-
- 第 12 期 RLI-2730 ファシリテーター研修会のご案内
日時: 2026 年 9 月 13 日(日)9:00~17:00
場所: メインホテル 4F きりしま
- 週報 志布志みなと RC
- 2026-27 年度 地区大会開催のお知らせ

月日	プログラム	会場
11/27	地区大会記念ゴルフ大会	溝部カントリークラブ
	RI 会長代理ご夫妻歓迎晩餐会	鹿児島サンロイヤルホテル 1F エトワール
11/28	G 補佐、部門長、会長・幹事合同協議会/指導者育成セミナー	
	第一本会議	鹿児島サンロイヤルホテル 2F 太陽の間
	会員交流大懇親会	
11/29	第二本会議	
	フェアウェルパーティー	鹿児島サンロイヤルホテル 1F エトワール

◆登録料

大会登録料	12,000 円
RI 会長代理歓迎大晩餐会	10,000 円
会員交流大懇親会	10,000 円
ゴルフ参加費	5,000 円

9. 9 月例会変更のお知らせ

〔鹿屋 RC〕 16 日(水)クラブ協議会 18:30~
(公式訪問前)

23 日(水)祝日の為、休会

〔きもつき RC〕 17 日(木)⇒29 日(火)12:30~
ガバナー公式訪問
会場:高山やぶさめ館

◆8 月誕生者祝



風呂井敬さん、北山 勉さん、窪田昌義さん



会長の時間

上谷田会長

前回に引き続き、私の入っている会について、ご紹介させていただきます。今回は「NPO 法人ローズリングかのや」についてお話をさせていただきます。

このローズリングかのやには、副理事長として鹿屋西ロータリークラブの山崎さん、原田さんと私が関わっております。このクラブの設立は、今のかのやばら園の計画当時に、「ばらをいかしたまちづくり委員会」というものがあり、その後ばら園が開園し、その後今の広がったグランドオープンした当時、ばら園運営にかかわる市と市民による市民協働活動として、つくられた団体です。私の記憶があい

次回プログラム		
9 月 07 日(月)		
卓話者:	大石 博資 さん	
担当委員会:	プログラム	
3分間スピーチ:	—	
出席報告	会員数	(37)38 名
	出席数	33 名
	出席率	89.19 %

メイクアップ情報			
鹿屋	08月26日	(水)ホテル こばやし	
かのや東	08月27日	(木)かのやグランドホテル	
串良	08月24日	(月)暑気払いの為会場変更	
志布志	08月25日	(火)大黒リゾートホテル	
きもつき	08月27日	(木)高山温泉ドーム	
南九州大崎	08月27日	(木)セントラント道の駅	
志布志みなと	08月26日	(水)大黒リゾートホテル 時間変更19:30~	

鹿屋西ロータリークラブ		
会長:	上谷田浩幸	
副会長:	前田 数郎	
幹事:	下茂 正和	
例会日 月曜日 12:30~13:30		
例会場 ホテルさつき苑 TEL:40-1212		
事務局 〒893-0064 鹿屋市西原1丁目9-10		
ホテルさつき苑内 TEL:44-5811 FAX:41-1959		
E-mail kanoya24@po5.synapse.ne.jp		

まいなので、副理事長のお二人に言わせると、「いや間違いがある」と言われるかもしれませんが、その辺はご勘弁いただき、大まかな流れはこんなところです。

ローズリングかのやは特定非営利活動法人として活動しているため、色々と制限があり、なかなか団体としての運営が厳しい状態が続いております。当初「ばら」をいかして街を鹿屋市を大隅半島を元気に盛り上げようという活動が目的の団体だったのですが、鹿屋市から委託される、入場者入場券の管理、ショップの管理運営、ローズダイナーの運営管理、イベントの計画運営等などに追われ、毎年決算では、プラスマイナスほぼとんとの状況が続いております。利益を上げて、街の活性化に力を入れたいところですが、実質運営していくので、精一杯です。売上などは、ばら園の入場者数に比例しており、ばらの生育不良・口蹄疫問題・コロナウイルス問題等などで、年間入場者の約半分にあたる方が来られる、「春のばら祭り」が中止になった事も何回もありました。その度に経営が窮地に追いやられ、私たち理事も資金繰りのため、数十万円ずつローズリングかのやにお貸ししたこともありました。私たち理事は、報酬は一切無く、手弁当で協力しています。これらの活動は、それこそロータリークラブの奉仕の理想に近いのではと、今になって思っております。今年の「秋のばら祭り」は11月の連休時期までに、ばらを咲かすことが出来ないという理由で中止となり、その代わりに、11月と12月に、誘客イベントをいくつか計画しております。皆さん、お時間がありましたら、是非かのやばら園に足をお運びください。

また、熊本地震に関する寄付について、皆さんにお知らせがあります。

龍潭ロータリークラブより、熊本地震義援金として、410,000 新 TWD(日本円に換算すると 2,050,000 円)を、鹿屋西ロータリークラブを通じてご寄付いただき、支援が必要な地震被災者への寄付や地域振興基金へのご協力をお願い致しますと、王谷さんを通じてご連絡を頂いております。理事会で決まりました様に、当クラブからの寄付金も1口2,000円で本日申し出の名簿を回覧させて頂きますので、最低1口以上のご寄付を頂けたらと思います。宜しくお願い致します。



3 分間スピーチ

中原 浩一さん

さつまいもの歴史について

皆さん、こんにちは。今日は、鹿児島弁で「から



いも(かいも)」、標準語では「さつまいも」の歴史についてお話いたします。

まず、さつまいもの公的な表記についてですが、国の農業統計や試験研究の文書、農

薬の適用表などでは、他のイモ類と区別して正確に記録するため「かんしょ」という名称が使われています。なお、ジャガイモは「ばれいしょ」という名称が使われます。

さつまいもの原産地は、中南米のメキシコやグアテマラあたりと言われています。紀元前3000年以上前から栽培されていたそうです。それが大航海時代にヨーロッパを経て、中国に伝わり、日本へやってきたのは1600年前後、今から400年以上前のことです。

「さつまいも」と呼ばれるようになった由来は、皆さんご存じだと思いますが、中国から琉球(沖縄県)に伝わり、琉球との密貿易を行っていた薩摩に伝わりました。これが、「薩摩からきた芋」という意味で「さつまいも」と呼ばれるようになった由来です。

江戸時代になると、さつまいもは日本全国へ広がる大きな転機を迎えたそうです。薩摩藩はさつまいもの藩外への流出を嫌って、藩外持ち出しを厳禁にしていたそうですが、青木昆陽先生が八代将軍吉宗を動かし、将軍の威を借りて試作用の種芋を薩摩藩に提出させ、関東での試作を成功させたそうです。

当時、日本はたびたび大飢饉に見舞われていました。さつまいもは痩せた土地や乾燥した場所でもよく育ち、収穫量が多いため、人々の命を飢えから救う救世主となりました。

戦後の食糧難の時代も、さつまいもは人々の生活を支え続けました。終戦直後の昭和21年頃のエピソードとして、国会議事堂の前庭や構内は一面のさつまいも(かんしょ)畑になっていたそうです。

そして現在では、ただの保存食や主食ではなく、焼き芋ブームやスイーツの主役として進化しています。世界中から注目される美味しい食材へと進化しています。

私たちが何気なく食べているさつまいもには、はるか海を渡り、多くの人々の命を救ってきた深い歴史が詰まっています。

さつまいもを食べるときは、そんな先人たちのご苦労や歴史に思いを馳せてみてはいかがでしょうか。ご清聴ありがとうございました。



会員卓話



竹之内 義文さん

皆さん、今日は「職業奉仕」について、少しお話しさせていただきます。

「職業奉仕」と聞くと、少し難しく感じる方もいらっしゃるかもしれません。私自身も、最初は「奉仕活動なのだから、何か特別なことをしなければいけないのかな」と思っていました。

でも、実はもっと身近なものです。

一言で言えば、「自分の仕事を通じて、人や地域の役にたつこと」これが職業奉仕だと思います。

例えば、飲食店を営んでいる方。

お客様に「おいしかった」「また来たい」と言ってもらえる料理を提供する。これは単なる商売でしょうか？ もちろん商売です。売上も必要ですし、利益も必要です。でも、その仕事によってお客様が楽しい時間を過ごせたなら、それは一つの社会貢献でもあります。

建設業の方なら、「安全で丈夫な建物をつくる。」小売業の方なら、「必要なものを、必要な人に、きちんと届ける。」

農業の方なら、「安全でおいしい農作物をつくる。」

どれも、誰かの生活を支えています。

つまり、私たちは仕事をしているだけで、すでに誰かの役に立っている。これが職業奉仕を考える出発点ではないでしょうか。

少し、具体的な例を考えてみます。

①飲食店の場合

ある飲食店の店主が、「とにかく売上を上げよう」と考えて、料理の量を減らしたり、品質を落としたら、短期的には利益が出るかもしれませんが、でも、お客様は離れていきます。

反対に、「どうしたらお客様に喜んでもらえるだろう？」と考えて、料理をおいしくする。店を清潔にする。従業員を大切にする。お客様に気持ちよく過ごしてもらう。

そうすると、結果として「また来たい」というお客様が増えます。そして店が繁盛し、従業員の雇用も守られ、地域にもお金が回ります。

これも立派な職業奉仕だと思います。

②建設業の場合

建設業の方も同じです。

「早く終わらせて利益を出そう」と考えて、安全や品質を犠牲にしてしまえば、それは職業奉仕とは言

えません。反対に、「この建物を使う人が、10年後、20年後も安心して使えるようにしよう」と考えて仕事をする。その結果、安全な建物ができる。

そこで暮らす人、働く人が安心できる。

これは、その仕事を通じた社会への貢献です。

特別なボランティアをしていなくても、「自分の仕事をきちんとする」ことが、誰かの安心につながっている。

これが職業奉仕の分かりやすい例だと思います。

商売をしていると、どうしても「利益」という言葉が気になります。「奉仕なのだから、利益を取ってはいけないのでは？」そんなことはありません。

むしろ、適正な利益を出して、事業を長く続けることが大切です。利益がなければ、社員に給料を払えない。設備を新しくできない。税金も払えない。

地域への貢献も続けられない。

ですから、「利益をだすこと」と「奉仕」は、決して反対ではありません。

大切なのは、「どんな方法で利益を出すのか」ということです。お客様をだまして利益を出すのか、それとも、「良い商品を提供して、お客様に喜んでもらった結果として利益をいただく」のか。ここには大きな違いがあります。

ロータリーには、皆さんご存じの「四つのテスト」があります。

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

これは実は毎日の仕事にそのまま使えます。

例えば、

「この商品をお客様に勧めて、本当に喜んでもらえるだろうか？」

「この取引は、自分だけが得をすることになっていないだろうか？」

「社員や取引先に、誠実に接しているだろうか？」

「この仕事は、最終的に誰かの役に立っているだろうか？」

こうやって考えてみると、四つのテストは単なるロータリーの標語ではなく、私たちが仕事をするときの「ものさし」にもなると思います。

職業奉仕というと、「ロータリーのために何か仕事をしなければならぬ」と思ってしまいがちですが、私は少し違うと思います。

ロータリーの例会場を出た後、自分の職場で何をするか。そこに職業奉仕があるのではないのでしょうか。お客様に誠実に接する。社員を大切にする。約束を守る。適正な利益を得る。良い商品やサービスを提供する。若い社員を育てる。地域の雇用を守る。こうした一つ一つの積み重ねです。

ロータリークラブには、さまざまな職業の人がいます。これは大きな財産です。

例えば、

建設業の人が持っている知識。

飲食業の人が持っている経験。

金融関係の人が持っている知識。

農業の人が持っている技術。

医療や福祉に関わる人の経験。

それぞれ違います。

でも、その違う職業の人たちが一つの場所に集まっています。だからこそ、「自分の職業の知識を、誰かのために使う」ことができます。これもロータリーならではの職業奉仕だと思います。

では、私たちは明日から何をすればいいのでしょうか。難しいことはありません。

まず一つ、「自分の仕事は、誰かの役に立っているのか」と考えてみる。

そしてもう一つ。「もっと喜んでもらうために、何ができるか」と考えてみる。

この二つだけでも十分だと思います。

そして、それを実際の仕事で一つ実践してみる。

お客様への対応を少し変えてみる。

社員の話を少し多く聞いてみる。

商品の一つ改善してみる。

地域の人に喜ばれることを一つ始めてみる。

そんな小さなことでいいのではないのでしょうか。

最後に、ロータリーの奉仕活動という、「地域のための何かをする」というイメージがあります。もちろん、それは大切です。しかし、私たちロータリアンには、もう一つ大きな奉仕の場所があります。それが「自分の職場」です。

ロータリーの例会で奉仕について語るだけでなく、例会が終わって、それぞれの職場に戻った時、「今日、自分の仕事で誰かを幸せにできるだろうか？」そう考えて仕事をする。それが毎日続けば、一年で大きな力になります。会員一人ひとりが、それぞれの職場で少しずつ会社を良くしていけば、その力が集まって、地域全体を良くしていくことができます。

職業奉仕とは、特別な人がする特別な活動ではありません。私たち一人ひとりが、毎日の仕事を誠実にやること。そして、「自分の仕事を通じて、誰かの役に立つ」こと。私は、それが職業奉仕の一番分かりやすい姿ではないかと思います。

今日、例会が終わって職場に戻ったとき、

「自分の仕事も、奉仕につながっているんだな」

と、少しだけ思っただけであれば幸いです。

ご清聴ありがとうございました。



◆スマイル報告

〈 6 件 〉

○誕生祝い有り難う御座居ます。立秋が過ぎたとは故残暑厳しい毎日です。皆様、御自愛下さい。………

…………… 風呂井

○誕生日祝いありがとうございます。8月2日で74歳となりました。後期高齢者まであと1年です。来年は自動車免許更新で認知症検査があります。最近の物忘れの多さに更新出来るか心配です？今後ともよろしく願いいたします。…………… 北山

○誕生祝いありがとうございます。ますます1年が早く感じるようになりました。…………… 窪田

○8月11日に久木田年度慰労会ゴルフコンペを開催しました。アトラクションで集まった分と記念品で集まった分の残金をスマイルします。次回も奮ってご参加お願い致します。…………… ゴルフ同好会 久永

○8月7日の平和の大使を迎えての懇親会、皆様おつかれ様でした。小・中・高校生たちが国境を越えて親睦を深めていく様は、私にとって汚れた心が洗われて大変心強く思えました。ありがとうございました。…………… 山下

○本日のニコニコBOXスマイルは3,765円です。

3行スマイル (下茂さん)

先日の西クラブゴルフコンペにおいて、多くのハンディキャップと素晴らしい同伴者に恵まれ、優勝させて頂きました。

本日計 26,000円 累計(一般) 56,391円
(財団) 62,093円 (米山) 28,750円

***** ありがとうございました *****



鹿屋体育大学バスケットボール部の活動をご報告